



「人間らしく生きたい! 人間裁判」

ささえる会結成総会

生活保護は国民の権利

◇ 15年4月15日(水)

18:30~20:30

◇ 岡山市勤労者福祉センター

(岡山市北区春日町5-6)

(TEL 086-233-8311)

記念講演

井上 英夫先生

(金沢大学名誉教授・生存権裁判を支援する全国連絡会 会長)

「全国で1000人が立ちあがった生活保護裁判
一何が問われているか(仮)」

「これ以上、生活保護基準が引き下げられたら生きていけない」「こんなひどい仕打ちにはだまっていられない」「生活保護は憲法で保障された権利」と訴訟に踏み切った生活保護受給者のみなさん。すでに全国20の道府県で、生活保護基準の切下げに抗議して裁判が起こされています。この岡山でも昨年10月30日に原告50人が岡山地裁に提訴し、いよいよ5月の連休明けから具体的な審理が始まろうとしています。

しかし、今の日本社会は生活保護受給者のみなさんに、いわれなき中傷を浴びせたり、生活保護を受けているというだけで肩身の狭い思いをしなければならない現状があります。

そこで、この度、勇気をもって裁判を起こした原告団のみなさんをささえ、理不尽な生活保護バッシングを取り除き、「権利としての生活保護」を胸をはって主張できるように世論や国民の意識を変えようと「『人間らしく生きたい! 人間裁判』をささえる岡山の会」を結成することになりました。

今回の生活保護裁判の意義やこれからの社会保障を考えるためにも、ぜひご参加ください。

「人間らしく生きたい! 人間裁判」をささえる岡山の会(準)

(岡山市北区下伊福西町1-53 TEL 086-255-1140) 岡山県社保協内

